

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	省電力型街路灯整備				所管	都市づくり部	
						土木課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	110	計画事業名	省電力型街路灯整備		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度
		[小 柱] (1)低炭素社会づくり					[事業開始] 平成23年度
		[施策] ①都市の低炭素化の推進					[終了予定] - 年度
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	道路法・交通安全対策基本法・交通安全施設整備事業の推進に関する法律・地球温暖化対策の推進に関する法律			
	事業対象	一般区民、道路利用者					
	事業目的	明るいまち整備事業で定めた照度基準を満たしながら、光源を省電力型街路灯のLEDやセラミックメタルハライドランプに変更することで、電気使用量を抑え、温室効果ガスの排出削減を図る。					
	事業内容	省電力型街路灯整備 740基 平成29年予定数量 716基					
委託の有無	なし	委託内容					
補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度
	活動指標	省電力型街路灯整備基数	基	740	456	816	743
		成果指標	省電力型街路灯整備基数(累計)	基	7,055	4,040	4,856
	決算額 (単位:千円)				107,622	151,740	133,160
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			8,522	7,218	8,025
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			96,640	151,740	133,161
		総経費			105,162	158,958	141,186
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			96,640	151,740	135,698
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0
一般財源(区負担額)			8,522	7,218	5,488		
前回評価から改善した事項	なし						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	温室効果ガスの排出削減を図るため、環境に配慮した省電力型街路灯への転換を進める必要がある。				
	効率性	3	照度や街路灯の仕様を工夫し、効率的に整備を行っている。				
	手段の適切性	3	地域特性に応じた照明を設置することで、夜間の安全を確保すると共に、快適な居住環境を創出している。				
	目的達成度	4	成果指標の目標は達成されており、着実に整備を行った。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	維持 拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	
区道における街路灯の省電力化は、環境負荷の軽減や電気料金の削減効果が高いことから、今後も事業を維持、継続していくことが必要である。							